プログラミング演習1 CASLシミュレータマニュアル

CASLシミュレータの概要

□ブラウザ上で実行できる

▶インターネットが使用できれば自宅でも実行できる

https://www.officedaytime.com/dcaslj/

CASLシミュレータ (CASL II 対応) コンソール シミュレータ画面 HELLO WORLD! <u>ソース</u> IEX1 START OUT OUTBUF, OUTLEN OUTBUF DC OUTLEN DC 'HELLO WORLD!' END ソースリストの入力場所 アセンブル (テキストエディタで作成した すべてのブレークボイントを削除 中止 ソースをコピペできる) ● 16進 ● 10進符号なし ● 10進符号付き GR0 0000 GR1 0000 GR2 0000 GR3 0000 GR4 0000 GR5 0000 GR6 0000 GR7 0000 SP FFFF ZF 0 SF 0 OF 0 PR 0000 各種レジスタの内容 表示 アドレス(16進) 実行結果 0000 7001 0000 7002 0000 1220 0004 1210 000D 0019 (メモリ上の) アドレス確認部 0000 EX1 START 0008 F000 0002 7120 7110 0000 OUT OUTBUF, OUTLEN RET 000C 8100 0048 0045 004C 000D OUTBUF DC 'HELLO WORLD!' 0019 OUTLEN DC 12 END 以下は次回アセンブル時に有効になります タブ位置 08 04 フォントサイズ(px) 12 実行開始ラベル アセンブルオプション・ 配置開始アドレス 0000 FFFF SP初期値 アセンブルリスト <u>ヘルプ CASL II 入門講座</u> 動作確認:IE 6/7, Firefox 2, Opera 9 もっと使いやすいのがほしい方 → <u>DCasl2</u>をおすすめします。 Version 1.01 (C) Daytime 2007. All rights reserved. davtime@officedavtime.com

ソースリストの作成

□"ソース"欄に実行したいソースリストを入力

▶おすすめの入力方法

1. (メモ帳などの)テキストエディタでソースコードを作成

2. 作成したソースコードをシミュレータにコピー&ペースト

01 1 EX1 2 3 4 OUTBUF	START↓ OUT OU RET↓ DC 'HE	<u>- [№]</u> ^ JTBUF,OUTLEN↓ ELLO WORLD!'↓	コピペ	ンース EX1 OUTBUF OUTLEN	DC DC	START OUT RET END	OUTBUF,OUTLEN 'HELLO WORLD!' 12
5 OUTLEN	DC 12	2↓					
6	END[EOF]			アセンブ	ับ		

ソースコードの実行1

レノース欄下部にある「アセンブル」ボタンをクリック

▶エラーがあると・・・

• 画面右上にエラー内容が表示

▶エラーがないと・・・

- 画面右下にアセンブルリストが表示
- 実行開始行が黄色にハイライトされる

U-Z EX1 OUTBUF OUTLEN	DC DC	START OUT RET END	OUTBUF,OUTLEN 'HELLO WORLD!' 12	
アセンブ アセンブ	びル マセ	ンブル	レボタン	

ソースコードの実行2

ロエラーなくアセンブルできたら・・・実行ボタンをクリック



デバッグ機能

□エラーなくアセンブルできるが、想定している実行結果が出力されないとき、デバッグしてみよう

- ステップイン: アセンブルリストのハイライト行が1行進む (レジスタの中身も更新) ステップオーバー: サブルーチンないで停止しない
- ステップアウト:
 サブルーチンから戻るまで実行後,停止

□Visual Studioのようなステップ実行可能



$-\gamma \sim 2\gamma |\psi| \psi |\psi|$



Dブレークポイント

▶任意の行で停止してほしいときに使用



レジスタ・メモリアドレスの確認方法

